

コンクリート打ち放し建築への光触媒塗料の販売停止

見積段階で、コンクリートの状況把握は難しく出荷を停止致します。²⁰⁻³

武蔵野美術大学施工結果



【吸水多いコンクリート】

【吸水多いコンクリート】

増量再塗装、翌日防水を確認 増量再塗装、翌日防水を確認



テスト施工 8 m² / 1L 本施工 7 m² / 1L 防水確認後追加塗装結果 5.5 m² / 1L

武蔵野美大 6 年経過後の検証 コンクリートへの防水の問題点⇒確認

天端が雨にたたかれ防水弱る。泥汚れが少し



その他の現場状況。立川市の打ち放し現場 8 m² / 1L フェイスガード防水剤 X P 100 後光触媒塗装

天端が雨にたたかれ防水弱る。泥汚れが浸透し汚れる



コンクリートの様態は一律でなく、状況に併せて防水剤を追加塗布する事は難しく、雨水がコンクリートに浸透して泥水で汚れます。光触媒で美観維持にコストをかけるより、防水を強化する方が、コンクリートの保護が出来、防水力あるフェイスガード防水剤 X P 2 0 0 塗装の保護がベストで光触媒は出荷停止する事に致しました。